

2019年度「休眠預金等活用法」に基づく資金分配団体公募
草の根活動支援事業 地域ブロック 採択事業

事業名 主題	地域支援と地域資源連携事業	
事業名 副題	困難を有するこども若者その家庭の課題を地域ぐるみで解決する	
地域ブロック	東海ブロック【事業対象地域：長野県】	
団体名	公益財団法人 長野県みらい基金	
代表者名	理事長	高橋潤
解決すべき社会課題	<p>1) 子ども及び若者の支援に係る活動; ① 経済的困窮など、家庭内に課題を抱える子どもの支援; ② 日常生活や成長に困難を抱える子どもと若者の育成支援</p> <p>2) 日常生活又は社会生活を営む上での困難を有する者の支援に係る活動; ④ 働くことが困難な人への支援; ⑤ 社会的孤立や差別の解消に向けた支援</p> <p>3) 地域社会における活力の低下その他の社会的に困難な状況に直面している地域の支援に係る活動; ⑥ 地域の働く場づくりの支援</p>	
事業の概要	<p>「経済的困難を抱える」「引きこもりのこども若者を抱える」「障害を持つ」「ジェンダー等生きづらさを抱える」などの困難を抱えるこども若者その家族への課題解決は、その要因が複合、多様であり、特に長野県は若年層の自殺率は全国一、今年6月の県調査では、引きこもり人口（6ヶ月以上の社会的参加ができない状態）は、県内で2290人。</p> <p>当県はそれぞれの地域が山岳や河川に囲まれ殆どが中山間地である。そこには、いわゆる都市部における困難を有するこども若者、その家族の課題の解決策とは異なったアプローチ、それぞれの地域特性を理解し、資源を活用した地域ぐるみでの課題解決へ取り組んでいく。</p>	
事業期間	3年	
助成額（円）	助成金	70,000,000
	PO関連経費	28,000,000
	評価関連経費	6,765,400
	合計	104,765,400

審査コメント	<ul style="list-style-type: none"> ・丁寧な調査で地域の課題を明らかにしようとするなど、課題把握を適切に行っており、今後の休眠預金制度として一石を投じている。 ・地域資源と地域のNPO等の団体、今後の活動継続のための資金獲得も課題として明確に織り込まれている。 ・連携を生かした公募、選考、非資金的支援も具体的に示されている。 ・長野のみの展開であるが丁寧に検討されており、今後の草の根支援のモデルになりえる可能性を持っており、他の都道府県にもこのような取り組みが広がることを期待したい。
--------	---

※審査コメントは、審査時点（2019年9月末）に作成されたものです。

※事業情報は、審査コメントを受けた事業の見直しを反映した契約時点（2019年11月下旬）のものです。